

鳥取県高等学校PTA 指導者研究大会に参加して

教頭 高垣 知博

十一月六日(日)に米子市淀江文化センターでPTA指導者研究大会が開催されました。

午前中は「高等学校における主権者教育」という演題で、鳥取県教育委員会事務局高等学校課の岩本孝治係長による講演がありました。県教委としての取り組みの方針や内容についてふれられ、小学校から高校に至るまでの学習プログラム(各校種でどういうことを学び、どういう活動を行うか)や高校三年間での詳細な学習内容、主権者教育を進める上での留意事項等をわかりやすく説明していただきました。

続いては米子東高校と米子高校の主権者教育の取り組み事例の発表で、両校とも県選挙管理委員会と連携し、平成二十六年年度の衆議院議員比例代表選挙の際の選挙公報やマニフェストを教材として実施した模擬投票と、それに向けての事前学習を中心とした内容でした。深く考えて投票先を決めることができない等の課題は残ったようですが、選挙に関する関心が深まり、投票への意欲も高まったとのことでした。

新聞報道では今夏の参議院議員選挙における十八歳、十九歳の投票率は決して高いとはいえないようです

が、高校に在学している十八歳の投票率は、こうした取り組みも功を奏して、かなり高くなっている可能性があるようです。ご家庭でもぜひ話題にしてみてください。

午後は、最近ようやく解決への取り組みが始まり、関心を集めている性的マイノリティ(LGBT)をテーマにした「パパがママになる日」という人権劇の上演でした。

演じた「演劇集団あり」は、米子市で最も歴史ある劇団だそうです。主に米子市周辺で働きながら活動をされており、演劇を通じて人権・平和・地域などをテーマに啓発活動をされているとのこと。劇団員には高校生年代の米子工業高等専門学校の生徒もおられました。

《あらすじ》

須藤和夫は、体は男性だが心は女性という「性同一性障がい」である。子どもころから心と体の違いに戸惑いながら生きてきた。自分の中で悩みながらも女性と結婚し、子どもが二人いる。しかし結婚生活も長くは続かず、子どもたちも和夫の姿に戸惑いながら生きてきた。

子どもたちが小学生のころ、和夫のことが原因で学校でからかわれていた。そんな中、和夫は子どもたち

の母親として生きていく決心をしたのだが、和夫と子どもたちの前には、法律的な問題や周囲の冷たい視線など大きな壁が…。

そして、子どもたちの決断は…?

紙数の関係で、詳しくは説明できませんが、とても面白い舞台でした。

LGBTは十人から二十人に一人の割合とのことで、劇中の出来事はいつ、誰もが直面してもおかしくありません。我々の外にも内にもさまざまな偏見や先入観が存在しますが、皆が互いを思いやり、認め合って豊かな人生を送ることができるようになりたいものです。

なお、この劇の主役、須藤和夫を演じられたのは米子東高校の現PTA会長の山口一樹さんで、まさにPTAによるPTAのための、充実した指導者研究大会にさせていただきました。



鳥工PTA人権教育研修会 〜神戸震災メモリアルパークを訪ねて〜

人権教育部 副部長 澤田 あゆみ

平成二十八年九月二十二日、今年度も人権教育部の視察研修に参加させていただきました。とても風の強い日でしたが、現地のガイドさんの案内で現在も震災の跡が残されている海岸を見てまわり、震災で市民の生活に大きな被害があったことの話を聞き、いつ、どこに起こるかかわからない地震に備えておく必要があるということをお教わりしました。

昨年十月には、鳥取県中部でも大きな地震があり、各地で被害が確認されました。余震が続く中、研修で頂いていた常備品のリストを見て、慌ててリュックサックに詰め込みましたが、研修で教わっていたことが活かせていなかったことを反省しました。

東日本大震災、熊本地震、鳥取県中部地震と大きな地震が続いており、今現在でも被災されている多くの方々がおられるということ、各地で復興が進められていることを頭におき、研修で教わったことを今後の生活に活かしていきたいと思っています。



津ノ井地域懇談会

平成28年11月17日(水)
津ノ井地区公民館にて

参加してくださったのは、津ノ井地域関係から13名、鳥工関係から12名、PTA役員から12名の計37名です。

まず初めに鳥工の概要説明をしていただき、それから協議に移りました。

協議内容として、

①生活指導について

②開かれた学校づくりについて

③地域活動について

④その他

として参加くださった皆さんから幅広く意見をいただきました。

☆ 鳥工の生徒は態度・服装ともちゃんとしていて、ゴミもちらかさない。

☆ 自転車のマナーは前より良くなってきているが、スマホやイヤホン使用はなくなる。

☆ 挨拶はなかなか返ってこなくて残念。だが、すれば返ってきたり頭を下げてくれる。

☆ 文化祭の案内を頂き、うれしく思った。

☆ 体育祭で子どもたちの成長を目にし、感動した。小中の子どもたちに与える鳥工生の影響は大きいと思った。

☆ 清掃活動にも感謝している。

☆ 一度生徒会役員の方との意見交換をしたいと思う。

☆ ぜひ鳥工生の活躍の場を与えて頂ければありがたい。

学校のある津ノ井地域の方々は、鳥工を地元の学校としてとても応援してくださっています。鳥工生は地域の方々にもいつも温かく見守ってもらっていることがとても伝わってきました。

皆さんからいただいた貴重なご意見は、先生から生徒に指導して頂き、我々保護者も子どもたちに注意していき、鳥工が地域からも愛される学校になるようにしていきたいと思います。

ものづくり講演会

- 1 日 時 平成28年10月18日(火) 13:00～14:30
- 2 会 場 鳥取工業高等学校 大体育館
- 3 講 師 鳥根電工株式会社 代表取締役社長 荒木恭司 氏
- 4 講 演 「不思議な会社」に不思議なんてない
～期待をこえる感動を！～



5 生徒感想文(抜粋)

☆ 「期待をこえる感動を」というスローガンが、とても心に残っています。期待通りの事をしたら、相手の方は満足して終わってしまうが、相手の方でさえ気が付く事ができない事をして、やっと相手の方を感動させる事ができる。これから社会に出ようとしている立場として、とても心にしました。

☆ 私の夢は、家を建ててお客様に心から喜んでもらう事でしたが、社長さんのお話を聞いて、それは叶える事が出来るので夢ではなく目標だと気が付き、なるほどなと思いました。社長さんのお話の中に「やる気がなくなった」ではなく「やらない決断をただけだ」という言葉があり、確かにその通りだと思いました。私は、そういう言葉をよく使うので、それは逃げているだけだと気がきました。

テクノボランティア

○平成二十八年七月二十二日(金)
午後一時～午後三時
建設工学科：五名
一人暮らし高齢者住宅

制御・情報科：六名 同上
内容：蛍光灯の交換、照明器具の清掃、草刈、エアコン

○平成二十八年十二月二十二日(木)
午後十二時三十分～午後二時三十分
機械科：六名
一人暮らし高齢者住宅

電気科：九名 同上
内容：室内の掃除、草刈、蛍光灯の交換、照明器具の清掃



二年生修学旅行

2年学年主任

西村 寿之

今年度の第2学年研修旅行は、関西・東海方面への研修旅行となりました。

研修旅行中は、生徒達が研修の目的と意義をしつかりと理解した行動を示し、また3日間とも天候に恵まれ計画した行程を無事予定通り実施出来ました。

世界を相手にする企業の一端に触れ、生徒は刺激を受け、また、班別研修では、自主的に計画し行動することを目指し、その中で協調性、社会性、仲間との親睦等を深められたと思います。

2年生の皆さんには、この研修から自身の進路をより深く考え、さらに集団生活のあり方を理解し今後に生かしてくれることを期待しています。

理数工学科

大久保 龍希

私が研修旅行を終えて感じたことは、県外の大学の学力と研究力の高さは、

同志社大学では、幅広い分野の研究をされており、自分の持っている大学のイメージを一新させるようなものでした。実際に講義を受けてみると、大学の研究と社会との結びつきが感じられました。

豊田工業大学では、十年、二十年先の研究が実際に進められていて、これが第三次産業革命につながると聞いた時には、とても驚きました。

この研修を通して、大学の研究力と



機械科

青山 潤乃丞

学力の高さについて、考えを改めさせられました。今後は、自分の進路に学力を合わせられるようにしたいと考えています。

一日目の研修先は、「神戸製鋼高砂製鉄所」でした。一番印象に残ったことは、鉄をプレスしている作業を見たことです。何万トン単位の重さを加えることのできる機械を初めてみて、大変驚きました。

二日目は、森永乳業中京工場に行きました。多くの人が口にするものを作っている工場であることは知っていましたが、それ以外には知りませんでした。衛生面には特に気を付けて、安心安全な食品を作ろうとしていることがわかりました。同じ製造業でも鉄などを加工してものづくりをするのと、食品を製造するのでは大きく違うことがわかりました。

これらの研修で得たことを、これからの学校生活にいかしていきたいと思っています。



制御・情報科

平山 隼暉

この研修旅行では、三菱電機姫路製作所とトヨタ自動車元町工場を見学しました。どちらも世界を相手にする企業であり、その規模に圧倒されました。

企業見学も充実していたが、私の印象に残っているのは、まずは名古屋での班別研修です。班のメンバーと歩き回るのは楽しかったが、無計画な部分もあったのでもっと話し合いをすべきだったなあと感じました。

また、USJに行くのは小学校の時からだったのに新しいアトラクションがたくさん増えていてとても楽しかったです。楽しませつつも安全を考慮してあり、考え抜かれたアイデアに感動しました。



この研修旅行で学んだ多くのことを、これからの進路や生活にいかしていきたいです。

電気科

中本 太郎

この研修旅行の中で特に「関西電力」の見学が印象に残っています。

最初にスライドを見ながら説明を聞ききました。大阪などの大都市を支えるためには大きな発電所が必要で、その中でも安全を第一に考えていることがわかり、スケールの大きさに驚きました。



また、電気の使用量によって発電量の調節が必要であることも知り、巨大なソーラーパネルやタービン建屋の見学では、初めて見る大規模な設備に驚きました。特にソーラーパネルの面積の大きさに圧倒されました。

今回の見学を通して、改めて電力を供給することの大変さを理解することができました。

建設工学科

中本 湧介

研修旅行で印象に残っていることは、「大和ハウス」です。地震の揺れを体感できる機械に乗せてもらったり、防音室の効果などいろいろと体験できました。将来、建築の仕事を目指している人や、そうでない人にとって貴重な体験でした。

名古屋と大阪の班別研修では、それぞれの行き先が異なる計画に驚き、とても充実した研修でした。



鳥取県立

高校職業教育技術顕彰

本田 涼太 (理数工学科)

菅原 悠生 (機械科)

谷口 碧生 (機械科)

中澤 優志 (機械科)

小谷 和也 (制御・情報科)

井上 智博 (建設工学科)

小川 寛生 (建設工学科)

金谷 拓哉 (建設工学科)

桑村 和来 (建設工学科)

中村 遼 (建設工学科)

矢田 将輝 (建設工学科)

山根 亮太 (建設工学科)

全国工業高等学校長協会 ジュニアマイスター顕彰

ゴールド

小谷 和也 (制御・情報科)

矢田 将輝 (建設工学科)

山根 亮太 (建設工学科)

谷口 碧生 (機械科)

小川 寛生 (建設工学科)

金谷 拓哉 (建設工学科)

中村 遼 (建設工学科)

シルバー

小谷 和也 (制御・情報科)

矢田 将輝 (建設工学科)

山根 亮太 (建設工学科)

谷口 碧生 (機械科)

小川 寛生 (建設工学科)

金谷 拓哉 (建設工学科)

中村 遼 (建設工学科)

三年保護者より

卒業にあたって

理数工学科 本田 美由喜

憧れの鳥工に入学してから、月日のたつのは早いもので、もう卒業の日が来ます。

重いリュックを背負い汽車で通学した毎日、友だちも増えてきた日々、無遅刻・無欠席と言いたいけど、一日熱(知恵熱かな?)で欠席した日、楽しかった学校生活、色々と思ひ出される三年間です。

私自身も、クラス評議員、科・クラス代表を受けて、保護者の輪が広がっていき、楽しく役員をさせてもらいました。一年間と短い間でしたが、三年間の活動をした思い出です。



これも保護者の皆さま、役員、先生方の協力があって出来たこと、感謝の一言です。本当にありがとうございました。

最後になりましたが、三年生の皆さん卒業おめでとうございます。

機械科 田中 清子

振り返ってみれば、あつという間の三年間でした。

三年前、高校卒業後は進学しない意志を確認し、それなら実業高校にしようとう鳥工に決めました。家族で初めての実業高校生、関数電卓や製図セット、作業服など色々な物が?であり、新鮮でもありました。

それから三年、間もなく卒業の時を迎えようとしています。

友達とふざけていて、ブレザーのボタンを飛ばして帰ったこと数回。懇談では、先生にタメ口で話す息子にヒヤヒヤ。色々あ



りましたが、息子にとつては充実した三年間だったと思います。

温かく見守り、ご指導下さった先生方、本当にありがとうございました。

制御・情報科 近藤 厚子

幼い頃から興味のある分野は変わらず、早くから高校は鳥工の制御・情報科を希望し、部活も決めていました。

三年間、県外開催の大会に参加させて頂き、最後の大会では惜しくも四位でしたが、目標に向かいチームで協力していく貴重な体験と時間を過ごせたと思います。

これからは県外に出て、今までと全く違う環境のなか、将来の仕事に繋がる勉学に懸命に取り組み、生活の全ても自分自身でこなすことになりそうです。

鳥工の三年間の経験に、今から学ぶことと体験することをしっかりと積み重ねていって下さい。



私自身も三年間役員として関わらせて頂き、貴重な時間を過ごすことが出来ました。

三年間大変お世話になりました。本当に有難うございました。

電気科 和多瀬 武

入学したのがついこの間の様に、あつという間の三年間でした。

三年間を通じてクラス評議員をさせて頂きました。先生方や同じ評議員の方々と色々な行事等でかわる事でお互いの情報交換・共有する事が出来て、大変よかったです。

役員は何かと大変と思われる保護者の方が多いかと思いますが、決してそのようないいと思ひは得られることの方が大きいと感じます。

せっかく子ども達が世話になっている鳥工です。少しでも我々保護者が一緒に頑張って



子ども達の成長の手助けになるのなら、少しも苦ではないと思います。今、役員をされている方、これからされる方、鳥工が盛り上がり、より良い学校になるように願うばかりです。

建設工学科 山本 佳子

入学式からあつという間の三年間、この文章を書きながら色々と思ひ出し感慨にふけています。

不器用ながら私がクラス役員として学校に関わった事が一番の思い出です。津ノ井駅での朝の挨拶を通しての生徒さん達とのふれあい、鳥工祭での巡回では、

〈大会結果報告〉

一月十九日現在

◆フエシング部(中国新人戦)

【男子団体フルール】 4位 1勝3敗
16-45岡山大会東京

【男子団体フルール】 4位 1勝3敗
45-28神田旭

【男子団体フルール】 4位 1勝3敗
31-45玉野光南

【男子個人フルール】 ベスト16
21-45柳井学園

【男子個人フルール】 4位 1勝3敗
竹内 貴羅/山下竜之介/中村 光

【女子団体フルール】 4位 1勝3敗
27-45岡山大会東京

【女子団体フルール】 5位 3敗
41-34神田旭

【女子団体フルール】 4位 1勝3敗
15-32神田旭

【女子団体フルール】 4位 1勝3敗
24-45岡山大会東京

【女子個人フルール】 4位 1勝3敗
45-22神田旭

【女子個人フルール】 4位 1勝3敗
24-45西大寺

【女子個人フルール】 4位 1勝3敗
宮本果陽子 ベスト16

【全日本選手権】 予選プール敗退
JOCジュニアオリンピックカップ

自分の高校時代を思い出し私の方が楽しんでいました。

この三年間を通じて良かったと心から思います事は、同じ多感な時期の子どもを持つ親として率直に話し合う事ができる関係を役員の方々と築けた事です。これはひとえに教育に熱心でそれでいて親しみやすく、また生徒さん達それぞれの将来までしっかりと見据えていらつしやる先生方のおかげです。

ここまでは言い尽くせませんが、本当にありがとうございました。



2回戦 2-0 境総合
決勝 1-2 米子西
敗者復活戦 2-0 米子東
決勝トーナメント 1回戦 2-0 米子工
準決勝 2-1 鳥取商
決勝 0-2 鳥取中央育英

◆ソフトテニス部(中国新人戦)
1-2 呉高専 0-3 高松農
予選リーグ敗退

◆バドミントン部(県新人戦)
【男子団体】 1回戦 3-1 米子
2回戦 0-3 米子工

【男子ダブルス・シングルス】 2回戦敗退
◆写真部(近畿高校総合文化祭)
優秀賞 吉田 悠人

◆将棋部(近畿高校総合文化祭)
【男子団体】 1勝1敗
予選リーグ 1敗予選リーグ敗退

【女子個人】 松岡美佑 予選リーグ敗退
敗者復活戦 1敗予選リーグ敗退

◆機械同好会
10位荒木 綾乃 15位梅田愛理奈
【中国高校将棋選手権】

◆制帽情報同好会
2位 植木裕馬(中国大会出場)
高校生のつくりコンテスト優勝部門鳥取県大会

◆中国地区代表として出場 小谷 和也
【中国大会出場】
1位 嶋田壮志
3位 田中 天斗 6位 田中 康博
◆その他スキー(県総体)
【男子ジャイアントスラローム】
7位 平田 優斗(中国大会出場)